

第 1614 回 天文学教室談話会

2017 年 1 月 24 日 (火) 16:30 より

東京大学理学部 1 号館西棟 11 階 1109 号室 (天文学専攻会議室) にて

“系外から見た地球と金星”

亀田真吾 (立教大学)

地球と金星の直径はほぼ等しく、トランジット観測で見分けることは難しい。一方、我々は地球と金星の環境が大きく異なることを知っている。地球程度の大きさの惑星が検出されるようになり、次はこれらを見分けることが求められる。本講演では、惑星から遠方に広がる外圏大気への観測結果の紹介を行い、現在ロシア 1.7m 紫外望遠鏡に搭載提案中の、低温度星周りの地球型惑星の外圏大気検出に向けた観測装置とその計画について紹介する。